

# 銘傳大學 103 年度轉學生招生考試

## 應用日語學系

### 二年級第一節

#### 「初級日語讀本」試題

(第 | 頁共 2 頁) (限用答案本作答)

可使用計算機  不可使用計算機

#### 一、語彙 1%×20

##### A. 下線部の語彙の振り仮名をつけなさい。

- \*病人が医者に頭が痛い①訴えた。 \*地位のある人は②上座に座る。  
\*大雪で列車の運行が③乱れる。 \*④屋上にのぼると富士山がよく見える。  
\*今度だけは⑤見逃してあげる。 \*道路を⑥横断するときは⑦左右をよく見なさい。  
\*先進国で⑧際立って低い失業率を⑨誇ってきた日本の「完全雇用神話」が⑩崩れている。

##### B. 下線部の語彙の漢字を書きなさい。

- \*彼のギターはすばらしい①ねいろだ。 \*国会で経済問題について首相が②とうべんした。  
\*学校新聞の発行を③きかくしている。 \*ダムを作って町で使う水を④かくほしたい。  
\*このホテルは冷暖⑤かんびだ。 \*彼はこのごろ⑥こうちょうで、試合にいつも勝つ。  
\*⑦せろんを無視するような政治はよくない。 \*梅雨が終わると、⑧ほんかくてきな夏になる。  
\*最近の日本の子供の体格は⑨こうじょうしてずっと大きくなった。  
\*ローンというのは借りた金を何度にも分けて⑩へんさいする方法だ。

#### 二、( ) に入る適当な助詞を□から選んで、その番号を記入しなさい。1%×21

1.で 2.と 3.に 4.の 5.へ 6.を 7.なんて 8.なんか 9.ほど

- ①彼は急いで書類( )かばん( )詰めて出掛けた。 ②この港はいつも釣り人( )大にぎわいだ。  
③田中将大投手の将来( )注目しているファンは多い。 ④一人だって怖く( )ない。  
⑤この町は以前( )違って、活気( )乏しい。 ⑥成功( )( )鍵は努力( )ある。  
⑦カード( )「お誕生日おめでとう」( )書いてある。 ⑧戦争( )悲惨なものはない。  
⑨日本( )( )ワーキングホリデーも明日( )終わりだ。  
⑩「人事課の山本さん、知ってる?」「山本( )人、知らないなあ。」  
⑪オバマ政権は銃犯罪抑止( )主要政策目標( )掲げているが、具体的成果は出ていない。  
⑫介護の労働人口の不足が社会問題( )( )発展している。

#### 三、次の文に間違いや不自然なところがあれば、訂正しなさい。なければ、○を書きなさい。

- ①私の家と隣の家は20キロも離してある。 2%×10  
②出掛ければ、傘を持って行きなさい。  
③(めがねを捜して) なんだ。こんなところにあるのか。  
④見て! あんなところでゴキブリが死んだよ。  
⑤夜、ライトをつけなくて自転車に乗るのは危険だ。  
⑥夏になると、国へ帰るつもりです。  
⑦朝起きて窓を開けると、雨が降りました。  
⑧この鍋は熱くて、注意したほうがいいです。  
⑨田中さんは田舎に帰っている。  
⑩会議はたしか明日の10時からでしたね。

本試題係両面印刷  
Exam Printed on 2 sides.

#### 四、次の文型を使って文を作りなさい。3%×5

- ①～うちに ②～によって ③～をはじめ ④～につれて ⑤～たびに

# 銘傳大學 103 年度轉學生招生考試

## 應用日語學系

### 二年級第一節

#### 「初級日語讀本」試題

(第 2 頁共 2 頁) (限用答案本作答)

可使用計算機  不可使用計算機

#### 五、① a. b. の文はどう違うか、説明しなさい。2%×2

1. a. 予算が 10 万円減った。 b. 予算が 10 万円に減った。
2. a. 全部分からない。 b. 全部は分らない。

#### ② 下線部の「～ている」の使い方を説明しなさい。2%×3

- a. 北海道にはもう 3 回も行っているので、今回の旅行は遠慮するよ。
- b. スキーが好きなので、毎年北海道に行っている。
- c. 林さんは短期留学で北海道に行っている。

#### 六、読解問題 2%×7

最近、日本語の「乱れ」がよく話題になる。よく挙げられるのが「なにげに」「ってゆーか」「チョー〇〇」や、自分のはっきり分かっていることなのに、「～じゃないですか」「～みたいな」を使う、いわゆる「若者言葉」だ。【a】、何が乱れなのか、何が変化なのか、実は答えるのはなかなか難しいことなのだ。たとえば、「すごい」も本来は凄惨なさまを言う語だったが、今では「すごくてき！」という使い方をする。また、「全然」も本来は「全然～ない」のような否定表現や否定語と呼応する言葉だが、今では若い人【b】、テレビに登場するタレントまでも、「全然いい」「【c】」などと言っている。実は「全く」という語もこれと同じ道をたどってきたのだ。もともと「全く」は「全然」と同様に、否定文でしか使わなかった。それが昭和の初めぐらいから、「全く素晴らしい」というように、肯定文の強調で使われる【d】になったのだ。当時の新聞は、やはり「最近はなんと日本語が乱れている【e】」と嘆いていたようだ。

- ① 【a】に入る語句として、最も適当なものを選びなさい。  
1.むしろ 2.しかも 3.だが 4.ところで
- ② 【b】に入る語句として、最も適当なものを選びなさい。  
1.ばかりか 2.はともかく 3.にすれば 4.をとわず
- ③ 【c】に入る語句として、最も適当なものを選びなさい。  
1.全然違う 2.全然大丈夫 3.全然だめだ 4.全然ほしくない
- ④ 【d】に入る語句として、最も適当なものを選びなさい。  
1.ために 2.ものに 3.ように 4.ことに
- ⑤ 【e】に入る語句として、最も適当なものを選びなさい。  
1.ことか 2.ものか 3.わけか 4.せい
- ⑥ 「何が乱れなのか、何が変化なのか、実は答えるのはなかなか難しいことなのだ」とありますが、それはどうしてですか。  
1.日本語の乱れを止めることは、誰にもできないことだから。  
2.若者たちが次々と新しい言葉や言葉の用法を作り出すから。  
3.一つの言葉には、もともと多くの意味が含まれているから。  
4.言葉や言葉の意味用法は常に変わっていくものだから。
- ⑦ 筆者の意見として、合っているのはどれですか。  
1.正しい日本語を使うよう、学校教育でも指導する必要がある。  
2.「ってゆーか」「チョー〇〇」といった若者言葉も認めてやっていい。  
3.今、日本語の乱れとされる表現が、将来、自然な日本語となる可能性もある。  
4.テレビに登場する人は、「全然いい」などの乱れた日本語を使うべきではない。

本試題係両面印刷  
Exam Printed on 2 sides.

試 題 完  
End of exam